

Economic Indicators

発表日: 2023年12月15日(金)

主要経済指標予定(2023年12月18日~12月22日)

(株)第一生命経済研究所 経済調査部
日本経済短期チーム (TEL: 03-5221-4525)

(12月18日~12月22日の主なイベント、指標予定)

	指標名	当社予測	市場予測	市場予測レンジ	前回結果
12月18日 (月)	金融政策決定会合 (~19日)				
12月19日 (火)	日銀総裁定例記者会見				
12月20日 (水)	8:50 7-9月期資金循環統計				
	8:50 11月貿易統計				
	輸出金額 (前年比)	+1.5%	+1.5%	▲6.6%~+6.5%	+1.6%
	輸入金額 (前年比)	▲8.5%	▲8.8%	▲13.4%~▲0.1%	▲12.5%
	貿易収支 (原数値、億円)	▲9,111	▲9,900	▲14,649~▲8,878	▲6,610
12月21日 (木)					
12月22日 (金)	8:30 11月消費者物価指数 (全国)				
	全国総合 (前年比)	+2.8%	+2.8%	+2.7%~+3.0%	+3.3%
	全国コア (前年比)	+2.6%	+2.5%	+2.4%~+2.6%	+2.9%
	8:30 10月毎月勤労統計・確報				
	名目賃金 (前年比)	—	—	—	+1.5%
8:50 金融政策決定会合議事要旨 (10月30・31日分)					

(注) 市場予測・レンジは Bloomberg、日経 QUICK 調査をベースに作成



11月貿易統計・貿易収支額（原数値） 当社予想：▲9,111億円 中央値：▲9,900億円

11月の貿易収支を▲9,991億の赤字（原数値）と予想する。これまで輸出の下支えとなってきた自動車の挽回生産も鈍化しつつあることから輸出は伸び悩み、高水準の赤字が続くとみる。物価の変動を除いた実質輸出でも、中国経済の低迷を背景とした一般機械等が足を引っ張っていることや、9月、10月と2か月連続で増加してきた反動もあり、今月は減少に転じる見込み。

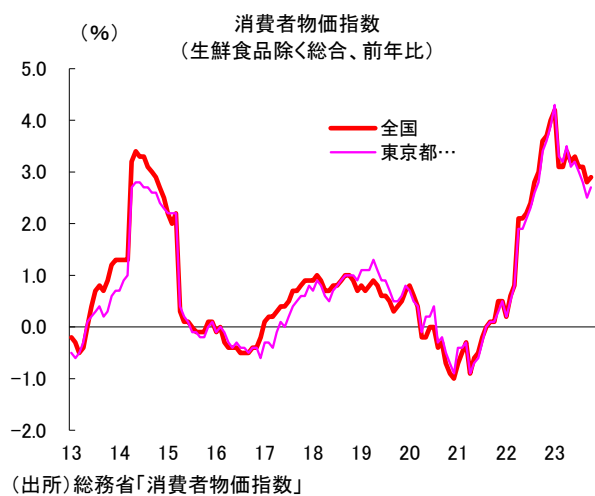
（副主任エコノミスト：大柴 千智）

11月全国消費者物価指数（生鮮食品除く総合） 当社予想：前年比+2.6% 中央値：同+2.5%

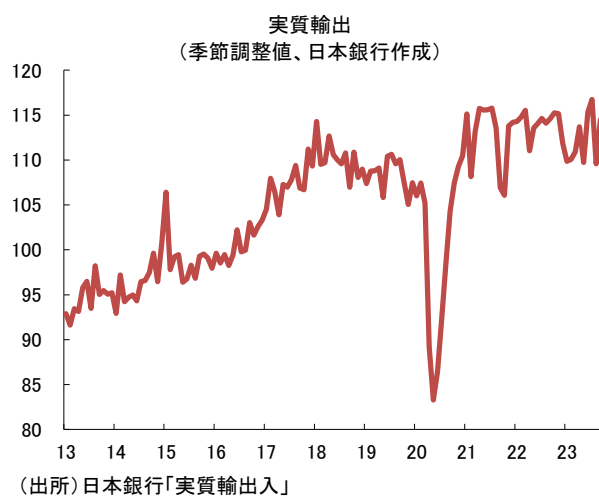
CPI コアは前年比+2.6%と前月の+2.9%から伸びが鈍化すると予想する。昨年の伸びが非常に高かったことの裏が出ることで食料品の上昇率が鈍化することに加え、エネルギー価格もマイナス寄与を拡大させる見込み。一方、エネルギーと食料を除いた部分では前月から伸びが拡大するだろう。全国旅行支援の影響で押し下げられた裏が出ることで宿泊料のプラス寄与が拡大することが影響する見込み。

（シニアエグゼクティブエコノミスト：新家 義貴）

図表1



図表2



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。